

25th Anniversary

SAPPORO

Factory

～創成川イーストエリアにおける環境変化を踏まえ、豊かさの実現を目指し、地域との取り組みを強化～

『サッポロファクトリー開業25周年』

2018年冬のオープンに向けて「上質な日常の提供」をテーマに、3条館2階の改装を計画・推進

サッポロファクトリー（所在地：北海道札幌市中央区北2条東4丁目）は、2018年4月9日（月）で開業25周年を迎えるにあたり、創成川イーストエリアにおける環境変化を踏まえ、地域との取り組みを強化、本冬のオープンに向けて「上質な日常の提供」をテーマに、3条館2階の改装を計画、推進します。

サッポロファクトリーは、1876年9月、日本人の手による初のビール醸造を行った開拓使麦酒醸造所が創業した地に、敷地面積約46,700㎡、延床面積にして約160,000㎡の複合商業施設を1993年4月に開業して以来、2006年11月には、近隣生活者への上質な日常の提供をコンセプトに「フロンティア館」がオープンする等、周辺環境の変化や多様なお客様ニーズに対応した改装を推進し、昨年2017年末までの累計にして、来館者数が1億5,000万人（2017年1月～12月の来館者数では700万人）を超え、現在も年齢・性別・国籍を問わず、多くの来館者が訪れています。

現在は、30～40歳代の女性を中心としたご家族連れや、友人やグループで来館する20代のお客様の構成比が高く、また、駐車場の利便性により、来館者の半数以上が自家用車で来館されており、集客数・売上高とも順調に伸長しております。また、近年、サッポロファクトリーが位置する創成川イーストと呼ばれる周辺エリアではマンション開発や北海道ガス工場跡地再開発（通称46開発）等、大規模な再開発が進んでおり、このエリアに住まわれる方、働きに来られる方、余暇の時間を過ごすために来られる方といった人口増により多様な価値観が求められてきていることを背景に、開業25周年を迎える本年は、日常における更なる利便性の向上と新たなライフスタイルの提案を目指し、今冬のオープンに向けて、46開発と空中歩廊で接続される予定の3条館2階の改装計画を推進します。

これからも、注目度の高い創成川イーストエリアのフラッグシップとして、日常の利便機能向上、豊かな時間と豊かな空間を提供し、周辺エリアの方々が繋がっていけるような様々なコミュニケーション機会を提供することで、エリアの発展に寄与していきたいと考えています。

また、開業25周年を迎えるにあたり、コミュニケーションメッセージとロゴ（別紙ご参照）を作成し、お客様の日常での利用シーンにおいて、より楽しく、嬉しく、素敵にするためのきっかけとなる様々なシーンを年間を通じて、季節ごとに提供してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

札幌事業部 マーケティング部 担当：大津・坂井 [TEL:011-207-5116](tel:011-207-5116) ※平日10時～18時

明日のあなたを つくる街へ。

暮らしというのはたいてい、ありふれた日常の積み重ねです。
住み慣れた家。気のおけない家族。体に染みついた日常。
だから時々、人はエキサイティングな非日常に憧れます。
行ったことのない国。華やかなセレブリティ。夢のようなパーティー。
ドラマのような非日常は、ありふれた日常を忘れさせてくれるもの、ですよね。

でも、わたしたちは思います。
ありふれた日常というのは、よく見れば小さなドラマの積み重ねなのだ。
見上げる空の色も、うれしいことも、悲しいことも。
昨日、今日、明日。遠くの誰かが演じた「ドラマのような」物語ではなく、
あなたにしか経験できない日々のドラマを積み重ねて、あなたはいま、ここにいます。

明日のあなたをつくるのは、今日のあなたが出会うドラマに他なりません。
だから、わたしたちは夢んでいます。
日々おとずれる、あなただけの大切なドラマを、
この街でしかできない演出で彩る未来を。
明日のあなたが輝くことを願って、わたしたちは夢を描きつづけます。

明日のあなたをつくる街へ。
サッポロファクトリーが動きはじめます。

